

地域医療初期研修カリキュラム

研修実施施設：高野町立高野山総合診療所

<一般目標 GIO : General Instructive Objective>

今後の高齢化社会における医療と福祉に対応するために、診療所や地域の病院にかかる患者が抱える問題が急性期病院とは異なることを認識し、適切にアプローチできることを目標とする。そのため、各施設の常勤医の指導のもと、そこに関わる看護および介護スタッフや相談指導員、通所リハビリテーションスタッフ等と共にチームで取り組む姿勢を身につける。

また、予防医療や改善指導、在宅診療等の地域診療現場での体験を通して、その地域における『かかりつけ医』の役割を理解すると共に、紹介元、逆紹介先の現状を理解する。

<行動目標 SBO : Structured Behavioral Objective>

- ・ 地方やへき地における医療機関の役割を理解する。
- ・ 総合診療、在宅ケアの基本的な考え方を理解する。
- ・ 総合診療、在宅ケアの基本的な診療技術を修得する。
- ・ 地域住民、(訪日外国人を含む)観光客に対して緊急医療を行うことができる。
- ・ 他施設への紹介業務ができる。
- ・ 指導医と共にへき地での巡回診療に同行する。
- ・ へき地での巡回診療の役割を述べるができる。
- ・ 特別養護老人ホーム入所申込者への健康診査ができる。
- ・ 特別養護老人ホームにおける日常診療を全人的観点からできる。
- ・ リハビリテーション、レクリエーションへの理解があり、積極的に参加できる。
- ・ 医療に関してスタッフや家族への指導ができる。
- ・ 相談指導業務を理解し、担当者との連携が十分にできる。
- ・ 在宅医療に指導医と同行し、診療が行える。
- ・ 在宅ケアの準備と関係機関との連携が十分にできる。
- ・ 既存の医療に満足せず、問題意識や批判的吟味の姿勢をもって新しい医療を提案できる(研修の成果発表として、当診療所をより良くするための提案をプレゼンテーション形式で発表する)

<方略 LS : Learning Strategies>

- ・ 指導医の指導のもと、外来診療レクチャー(非専門医にも求められる高血圧、脂質異常、糖尿病、COPD などプライマリな疾患におけるフォローの仕方)を受ける。
- ・ 指導医の指導・監督のもとに患者(在宅、施設入所者)の受持ち医として診療を行う。
- ・ それぞれの施設・部署の指導者による指示と評価を受ける。

- ・指導医の指導・監督のもとに予防医療への理解と指導能力を高める。
- ・各種カンファレンス等に積極的に参加する。
- ・研修期間は1か月のみとする。
- ・研修先については研修医の希望を聞いた上で、研修施設と調整して決めるものとする。

<研修評価 EV : Evaluation>

- ①研修目標の各項目について、自己評価および指導医評価を行う。
- ②1か月間の研修を通しての発表をもって、指導医が成果を総合的に評価する。
- ③自己評価：EPOC および事後レポートを用いて自己評価を行う。
- ④指導医による評価：EPOC およびレポート等を用いて評価する。

週	曜日	午前	午後
1 週	月	オリエンテーション	2 診
	火	2 診	2 診
	水	1 診/検査	2 診
	木	特別養護老人ホーム	2 診/小児科相談
	金	小児科診察/1 診	1 週間の振り返り
2 週	月	1 診/眼科	2 診
	火	2 診	2 診
	水	1 診	2 診
	木	富貴診療所	2 診
	金	フィールドワーク	1 週間の振り返り
3 週	月	1 診/眼科	2 診
	火	訪問診療	1 診
	水	2 診	2 診
	木	消防署	消防当直
	金	訪問診療	1 週間の振り返り
4 週	月	1 診	乳幼児健診/2 診
	火	放射線/2 診	2 診
	水	2 診	2 診
	木	訪問看護・通所リハ	2 診
	金	フィールドワーク	整形外科・成果発表

※2 診（外来レクチャー・新患）

※2 ヶ月に 1 回奇数月 木曜日 脳神経内科